（様式第４号）

協働推進モデル事業計画書（本提案用）

（記載が複数ページにわたっても良いので、できるだけわかりやすく具体的に記載してください。ただし、この企画書はA4サイズ４ページ以内で作成してください。）

<table>
<tr><td rowspan="2">提案団体名</td><td>団体名</td><td>特定非営利活動法人岡山市子どもセンター</td></tr>
<tr><td>合同提案団体
（＊協議体・実行委員会等で提案される場合は構成団体をすべて記載してください。）</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">提案事業の名称</td><td>自立する子どもを育むための体験活動推進事業</td></tr>
<tr><td colspan="2">提案事業の目的</td><td>平成２５年度岡山市市民協働推進モデル事業で「自立する子どもを育むための体験活動調査」を実施した。その結果、子どもが豊かな体験をするためには、体験活動の魅力や意義を可視化し、保護者にわかりやすく伝えていくことが必要であること。子ども会などの地域団体と公民館などの地域施設、子どもへの体験活動を提供するＮＰＯが調査結果をもとに円卓会議を開催し、それぞれの課題を共有し地域における子どもの体験活動充実のためのネットワークを作り、課題を解決することが必要であることがわかった。
今年度は、昨年度の調査結果を受けて、第一弾として幼児親子を対象に体験活動プログラムを企画・実施し、保護者をはじめ、社会にわかりやすく体験活動の重要性を広報する。
また、行政・ＮＰＯ等で円卓会議を開催し、ネットワークを拡げ、昨年の課題について方策を探り、岡山市の子どもが豊かに育つ体験活動による地域づくりを目指す。</td></tr>
<tr><td colspan="2">課題の緊急性・重要性
（市民ニーズ含む）</td><td>1．解決する課題
子どもたちの生きる力を育み、自立する子どもを育てるためには、学校、家庭、地域がそれぞれの立場で効果的な体験活動を提供することが、必要不可欠だと考えられる。子どもの体験活動の機会の拡充と質の向上を図るためには、子どもたち自身が、それらを魅力的と感じ、また担い手となる保護者や地域住民が、体験活動の意義について具体的に理解することが、求められる。体験活動プログラムを提供する団体側の課題としては、役割の負担をいやがる保護者の増加やスタッフの育成、プログラムのマンネリ化、情報発信方法の改善、運営資金、保護者への普及啓発などがある。
　また、子どもの体験や親の意識が、その後の子どもの育ちを方向づけるので、学童期以前の幼児親子に対してプログラムを実践していくことが緊急かつ重要である。

2．市民ニーズ
平成 25 年度岡山市市民協働推進モデル事業で「自立する子どもを育むための体験活動調査」の結果、１～３年生の保護者は、子どもの意思を尊重し、子どもの可能性を育もうとする視点を第一に考えており、体験活動について肯定的な意識を持っている。また、まだ体験が不足しているとも思っている。

3．課題解決の方策
市民、ＮＰＯ、行政、それぞれのセクター間、およびセクターを超えたネットワークを作り、それぞれが抱える課題や悩みを解決し、子どもの体験活動の機会の拡充を図るために円卓会議を開く。そして、お互いに現状を把握し、それぞれの役割に基づいて知識・技術・資源の交流をしながら協働していくことが不可欠である。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>協働の必要性
及び効果と目標

（協働の役割分担を含む）</td><td>1．協働の必要性と相乗効果
子どもの体験活動については、行政をはじめ子ども会などの地域団体と公民館などの地域施設、子どもへの体験活動を提供するＮＰＯなどが、昨年の調査結果をもとに円卓会議を開催する。また、ネットワークをつくることにより、現状や課題を共有し、地域における子どもの体験活動を充実させることができる。
2．提案団体が果たす役割
さまざまなネットワークを持っている強みを活かし、事務局として事業を円滑に実施することができる。具体的な成果をとおして、子どもの体験活動の重要性を社会に発信する。
3．岡山市の担当セクションと市が果たす役割
昨年度「自立する子どもを育むための体験活動調査」実施について、協働したことを踏まえ、今年度も引き続き、岡山市の子どもの体験活動について、それぞれの立場から円卓会議をはじめ課題解決に向けて協働して検討していく。
4、期待する事業成果・目標値等
円卓会議の実施（2回）、幼児親子にむけてのプログラムの開発・実施（3か所）により幼児とその親を対象としたプログラムを作成する。</td></tr>
<tr><td>事業の内容</td><td>① 幼児親子を対象に体験活動プログラムを実施し、子どもたち自身が、それらを魅力的と感じ、また保護者に向けては、体験活動の魅力や意義を可視化しわかりやすく伝えていく。
② 子ども会などの地域団体と公民館などの地域施設、子どもへの体験活動を提供するＮＰＯによるネットワークをつくり、地域における子どもの体験活動充実のための円卓会議を開催し、課題について方策を探る。</td></tr>
<tr><td>事業の実施体制</td><td>1． 総括責任者　　美咲　美佐子
2． 個別事業責任者　　道仙　八代己　・三輪　陽子
3． 事業実施にあたっての専門性やノウハウ
「夏休みフリー塾」をはじめ子どもの体験活動について、ＮＰＯ法人発足以来１３年間、ボランティアの人材育成やプログラム開発に取り組んできた実績がある。</td></tr>
<tr><td>事業スケジュール</td><td><table>
<tr><th>月</th><th>実施事業内容</th></tr>
<tr><td>7月</td><td>円卓会議の実施
幼児親子のための体験活動プログラムの企画</td></tr>
<tr><td>8月～12月</td><td>幼児親子のための体験活動プログラムの企画・実施</td></tr>
<tr><td>1月</td><td>幼児親子のための体験活動プログラムの検証</td></tr>
<tr><td>2月</td><td>円卓会議の実施</td></tr>
<tr><td>3月</td><td>まとめ</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>実施する上で連携が必要と思われる団体と期待される役割</td><td><table>
<tr><th>名称</th><th>期待される役割</th></tr>
<tr><td>岡山市立公民館</td><td>体験プログラム実施と円卓会議に参加し、課題を共有し、情報発信する。</td></tr>
<tr><td>子ども会</td><td>円卓会議に参加し、課題を共有し、情報発信する。</td></tr>
<tr><td>岡山市岡山っ子育成局こども企画総務課</td><td>体験プログラム実施と円卓会議に参加し、課題を共有し、情報発信する。</td></tr>
<tr><td>子どもに関する事業をしているＮＰＯ</td><td>幼児親子のための体験プログラムの企画実施と円卓会議に参加する。</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>事業の展望及び
今後の活動展開</td><td>■ＮＰＯがネットワークを構築し、他団体と連携し実施することを目指す。
■岡山市の一般施策としていくことを期待する。
■次年度以後も協働での実施を希望。
□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

具体的な目標（計画）があれば記載してください。
それぞれが抱えている課題をするとともに、体験プログラムを全市に拡げていく。
ネットワークを充実させ、岡山市の子どもが豊かに育つ体験活動による地域づくりをより進めていく。</td></tr>
</table>

（様式第５号）

協　働　事　業　収　支　予　算　書

提案事業名	自立する子どもを育むための体験活動とネットワークづくり事業

＜収　入＞

費目		金額	内訳
自己資金等	申請団体自己資金	127,520	
	合同提案団体負担金等		
自己資金等合計（a）		127,520	
事業収入見込	参加費	30,000	@500円×20組×3回＝30,000円
事業収入見込合計（b）		30,000	
岡山市補助金申請額（c）		630,080	
収入合計(c)＝(a)+(b)＋(c)		787,600	

＜支　出＞

費目		金額	内訳
事業実施経費	講師謝金	100,000	学習会講師@50,000×1人×2回
	〃	15,000	講座講師@5,000×3人×1回
	宿泊交通費	80,000	学習会講師@40,000×1人×2回
	消耗品費	5,000	参加者募集チラシ用紙代@5,000
	〃	10,000	学習会用（模造紙・ﾏｼﾞｯｸ等）
	〃	40,000	
	保険代	3,000	
事業実施経費合計（d）		253,000	
管理運営経費	人件費	489,600	事務局人件費 @850円×8H×8日×9ヶ月＝489,600
	人件費	36,000	ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ謝金 @3,000×6回×2人＝36,000
	消耗品費	3,000	コピー用紙、封筒
	通信費	3,000	郵送料
	食糧費	3,000	会議用お茶@100×30
管理運営費合計（e）		534,600	
総事業費(f)＝(d)＋(e)		787,600	※収入合計（c）と同額

（添付書類等）１．人件費等については、積算の根拠（これまでの実績や独自の単価表）を添付すること

２．参加料などの事業収入を見込む場合は「収入見込み」欄に計上すること